

一般社団法人日本調理科学会 2020年度第4回理事会議事録

日 時：令和 3年 1月25日（月）10：00～11：20

場 所：オンライン開催

出席者：綾部園子会長，新井映子筆頭副会長，高村仁知副会長，平尾和子副会長，
中村恵子，佐藤靖子，飯田文子，阿久澤さゆり，数野千恵子，小西史子，
名倉秀子，磯部由香，和泉秀彦，坂本薫，菊崎泰枝，五島淑子，岡本洋子，
久木野睦子，郡田美樹，酒井宏子，三宅裕子，宮藤章（以上理事22名）
藤井恵子，峯木眞知子（以上監事2名）

欠席者：升井洋至，三成由美（以上理事2名）

本日の理事会は，定款第33条理事の過半数の出席（理事24名中22名出席，欠席2名）を満たし成立。

【配付資料】

資料1：一般社団法人日本調理科学会 2020年度第3回理事会議事録（案）

資料2：一般社団法人日本調理科学会 2020年度第4回理事会報告（編集委員会）

資料3： 同 （情報管理委員会）

資料4： 同 （刊行委員会）

資料5： 同 （創立50周年記念出版委員会）

資料6： 同 （次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会）

資料7： 同 （COVID-19対策ワーキンググループ）

資料8：2021年度事業計画（案）

資料9：2021年度収支予算（案）

資料10：2021年度代議員総会について

資料11：一般社団法人日本調理科学会 2021年度大会のご案内と研究発表募集

回収資料：新入会員申込者

1. 議長，議事録作成人，署名人選出

前例により，議長は綾部会長，議事録作成人は岡本庶務担当理事，議事録署名人は綾部会長，新井筆頭副会長，峯木監事，藤井監事とする。

2. 前回議事録確認

2020年度第3回理事会議事録（案）（資料1）を確認し，了承された。

3. 議事

【報告事項】

(1) 業務執行理事からの業務執行状況に関する報告の件

綾部会長より，前回理事会以降の会長の職務を執行してきたとの報告があり，新井筆頭副会長は庶務・編集担当として，高村副会長は情報管理・会計担当として，平尾副会長は企画・広報担当及び家

庭料理委員会の担当として、会長を補佐し職務を執行してきたとの報告があった。

(2) 常置委員会からの報告の件

1) 編集委員会

新井筆頭副会長より、資料2に基づき、論文審査状況および「日本調理科学会誌」論文投稿規程の一部変更の報告があった。やや投稿数が減少傾向であり、また、印刷事情がよくなりカラー印刷の規程を変更したという説明があった。

2) 情報管理委員会

高村副会長より、資料3に基づきホームページの更新やメール・ニュース配信等の報告があった。

(3) 特別委員会からの報告の件

1) 刊行委員会

綾部会長より、資料4に基づき報告があった。2025年12月までに提出された原稿を出版対象とする。これまで計9巻が出版されており、10巻は長尾慶子氏の執筆した図書が出版されることになっている。

2) 創立50周年記念出版委員会

綾部会長より、資料5に基づき報告があった。別冊うかたま「伝え継ぐ 日本の家庭料理」は、2021年度に発行する計2巻で終了となる。「全集 伝え継ぐ 日本の家庭料理」が電子書籍化され、2021年2月下旬に発売予定である。これは、大学の図書館等に向けたものであり、個人向け販売については、別途知らせる。

(4) 研究委員会からの報告の件

1) 次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会

平尾副会長より、資料6に基づき報告があった。これまで実施していたポスター発表は、2020年度大会の中止により、1年延長される。2021年度大会におけるテーマは「行事食」、2022年度大会におけるテーマは「全体のまとめ」とする。CDについては、2021年度は「主菜・副菜」、2022年度は「行事食・全体のまとめ」を作成する。2021年度の発表様式は会場発表とオンライン発表のハイブリット型を予定している。

2) 災害時メニュー開発に関する研究委員会

綾部会長より、コロナ禍により活動を中止している。2021年度大会においてもデモ調理は実施しないが、それに替わる活動について、実施するかどうかも含め、検討中である。

(5) COVID-19対策ワーキンググループからの報告の件

綾部会長より、資料7に基づき報告があった。「COVID-19の感染症拡大防止に配慮した調理学実習実施ガイドラン」を学会ホームページに掲載し、メール・ニュースで配信した。2020年度後期終了後、再度、アンケートを実施し、検証する予定である。

【審議事項】

(1) 新入会員承認の件

綾部会長より、回収資料に基づき、令和2年10月1日～令和3年1月20日の新入会員(正会員5名、学生会員6名)について説明があり、確認を行って承認された。

(2) 2021年度事業計画(案)・予算(案)の件

1) 2021年度事業計画(案)

綾部会長により、資料8と資料8補足に基づき、2021年度事業計画(案)が提案され、審議を行った。内容については、綾部会長を中心に説明がなされ、企画・広報関連と研究委員会に関する内容については平尾副会長、編集委員会関連については新井筆頭副会長、情報管理委員会関連については高村副会長から説明がなされた。懇親会（削除）および演題登録の箇所（Submissionを削除）について「修正した上で承認」となった。

2) 2021年度予算(案)

高村副会長より、資料9に基づき予算案が提案され、2021年度と2020年度の予算額について、それぞれの科目の増減額とその要因の説明があった。2021年度予算について、経常収益と経常費用を比較すると約43万円の赤字となる。主な要因としては、正会員数減少にともなう会費収入や50周年記念刊行著作経費（別冊『うかたま』が4冊から2冊へ）の減少が考えられた。正会員数や2021年度大会参加者数を増やして対応する必要がある。資料9には数値として示されていないが、2020年度には大会からの収益も見込めなかったため「持続化給付金（経済産業省）」に申請したところ、給付されたので、2021年3月の決算時には200万円が計上される。本予算案について審議され、承認された。

(3)2021年度代議員総会等の件

1) 代議員総会の開催

綾部会長より、資料10に基づき代議員総会の開催について提案され、審議を行って、承認された。Zoomウェビナーによるオンライン開催とする。電磁的方法によって開催通知を行う。出席できない代議員は電磁的方法によって議決権を行使する。

2) 電磁的理事会の開催

綾部会長より、資料10に基づき電磁的理事会の開催について提案され、審議後に承認された。代議員総会の議決権行使を可能とするには、4月の監査終了後、理事会を開催し「前年度事業報告案」及び「前年度貸借対照表及び正味財産増減計算書」の承認をえる必要がある。そのため5月連休前後に電磁的理事会またはZoomで臨時理事会を開催する。

3) 講演会

平尾副会長より、資料10に基づき、来年度6月開催の講演会をZoomウェビナー形式にする提案がされ、審議を行って、承認された。講演会資料の、要旨やスライドなどの資料の種類については講演者に任せることになった。大会のときの講師料については平成27年度大会から取り決めがあるが、代議員総会の講師謝金については詳細なルールはない。6月6日の講師謝金については、企画担当者が前例を参考に判断して決定することになった。

4) 第1回理事会の開催

「電磁的理事会の開催」の議事で審議・承認済。

(4)2021年度大会の件

飯田関東支部長より、資料11に基づき、ハイブリッド方式による2021年度大会について提案があった。さらに、数野理事（副実行委員長）より、要旨集送付等の説明があり、審議後、これらが承認された。なお、参加費は、「前納」および「当日」について、正会員7,000円、非会員8,000円（学生会員2,500円、非会員学生3,000円）となり、「前納」と「当日」に差を設けない。大会参加申込は5月7日（金）から7月30日（金）である。「前納」は7月30日までに参加申し込みを行った参加者、「当

日」は7月31日から当日までに参加申し込みを行った参加者である。7月30日までに申し込みを行った場合には、要旨集が郵送される。それ以後に申し込みを行った参加者は学会終了後に、要旨集が郵送される。当日、直接、学会会場に来場すれば、要旨集が手渡される。要旨集は、ホームページ上で公開されるので、閲覧可能である。本部から大会準備金の補助があるが、多くの大会参加者を得て、本部に返還できるようにしたい。展示はオンラインを予定している。

(5)2022年度大会の件

坂本近畿支部長から、2022年度大会について、提案があり、承認された。内容については、姫路市の外部施設を会場として開催する予定であったが、コロナ禍で参加者の減少が予想され、会場を近畿支部の大学とする。坂本支部長が勤務している兵庫県立大学には大人数を収容できるホールがないので、難しい。2020年8月には、「2022年度大会を姫路市で開催」と報告したが、近畿支部の大学となる。

(6)2021-23年度日本調理科学会研究委員会設立の件

平尾副会長より、資料12に基づき、「2021年9月以降の研究委員会の新企画(案)」について提案があった。2021年8月に「伝え継ぐ 日本の家庭料理」が完結するので、それに代わる企画について6つに集約されたテーマの説明があった。現時点での絞り込みは難しいので、1か月程度理事を中心に意見やアンケート等を求める。その上で、新企画について、会員が参加できるようなテーマを選び、ワーキンググループなど詳細な点も含め提案されることになり、これらが承認された。

(7)2021年度学会賞選考委員会の件

綾部会長より、2021年度学会賞選考委員会設置の提案があり、承認された。選考委員長は新井筆頭副会長、委員は小西理事、菊崎理事、佐藤理事、岡本理事で構成されることになった。

【その他】

(1)各種支部報告(2020年度事業報告・決算, 2021年度事業計画・予算)の提出の件

綾部会長より、各支部の2020年度事業報告・決算(いずれも案で可)および2021年度事業計画案・予算案を3月末までに事務局へ提出するよう各支部長へ依頼があった。

(2)学会賞候補, 奨励賞候補, 功労賞候補の推薦の件

綾部会長より、学会賞および奨励賞候補者の推薦依頼が日本調理科学会誌2月号(1号)に掲載されるので、推薦をお願いしたいとの依頼があった。功労賞については、各支部長に候補者の推薦依頼があった。

議事録署名人	会長	綾部園子	印
	筆頭副会長	新井映子	印
	監事	峯木眞知子	印
	監事	藤井恵子	印